

平成26年度施策評価に係る外部評価シート

担当部局名	総務部・経営企画課		
施策名	施策85 民間活力の導入		
施策の目的	限られた経営資源の中で、市民満足度の高いサービスを実現するため、民間の持つノウハウや技術を新たな活力として行政サービスに導入し、効率的かつ高品質な行政運営を推進します。		
平成25年度決算(千円)	0	平成26年度予算(千円)	0

※外部評価委員記入欄

評価項目		判断	判断理由	
① 事務事業の妥当性	<p>この施策を構成する事務事業は妥当であるか？</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●当該施策の推進において事務事業の過不足はないか。必要性・重要度が特に高い又は低い事業はないか。 ●施策評価シート「5. 事務事業の検討」の施策内優先度は妥当か。 	A 効果的な構成である	0	<ul style="list-style-type: none"> ●構成項目が1つの特別な設計であり、優先度の判定の対策とはならない。よってCとはならない。(B) ●判断理由記載なし。(B) ●段階的な事業としては、妥当だと考えます。(B) ●NPO団体も含め市民一人ひとりが何らかの形で参加できる施策があれば、ポータル方式を採用して(例えば清掃事業など)検討に入れたらと。(B) ●NPO等、民間委託への活用事業として推進が行われており、Bと判断しました。Aとする場合は、国等、上記の他にも追加実績が必要と思いました。(B) ●行革推進事業の1つだけというのは違和感がある。協働に関する総合的取り組みがあるならば、事業として掲載すべき。(C)
		B 概ね妥当である	5	
		C 構成に問題がある	1	
② 施策の進捗状況	<p>施策は計画通り進んでいるか？</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施策評価シート「3. 施策の指標における成果(主な指標)」、「4. 施策の展開(結果と今後の方向性)」や「5. 事務事業の検討」の成果等を参考とする。 ●施策と事務事業の進捗状況の説明内容等を参考とする。 	A 躍進中	0	<ul style="list-style-type: none"> ●判断理由記載なし。(B) ●今後は地元企業、組織とも連携を図り多くの方々への啓発と問題意識の共有化を図り、意見集約を促進を図るべきである。(B) ●透明性を持って進めて頂きたいと思います。(B) ●協働に関する取り組みが遅れている。(C) ●毎年10件新規事業スタートという目標には届いていない。目的にある「効率的かつ高品質な」を確認する手段について、見えない側面があった。(C) ●今後益々躍進すべき施策と期待し、Cとさせて頂きました。目標値の設定は、今後何らかの裏付けを見出せると良いと思いました。(C)
		B 予定通り	3	
		C 遅れ気味	3	
③ 資源の方向性	<p>今後、この施策の資源(人員・予算)の方向性は？</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施策の目的の達成に向け、現状の人員や予算を来年度以降、どのようにすべきか。 ●個別の事務事業の予算配分は妥当か。 	↑ 増加	1	<ul style="list-style-type: none"> ●大変意義深い事業で、本来はもっと推進すべきと思われ、資源の投資をもっとお願いしたいと判断しました。(1) ●判断理由記載なし。(→) ●管理、内部マネジメントのため、大きな追加でのリソース投入の必要はないのではないかと。(→) ●行政だけでは、専門知識、スキルメリット等において必要性があるため、民間活力が導入されてきた。社会環境が激変する中で、更にその必要性が増加することも考えられ、維持すべきと考える。ただし、その時も民間への依存度が不必要に増加しないよう、行政の守備範囲を明確にされたい。(→) ●現状維持が妥当です。(→) ●指定業者導入に際して、メリットもあれば、デメリットもあると思えます。それをいかにプラス方向へ展開できるか工夫を!! (→)
		→ 維持	5	
		↓ 縮小	0	

④コメント欄(今後の施策運用に関する改善策、その他意見等)

●指標名(新たな担い手)と指標の説明(事業数)がずれている。一致させた方がよい。

●毎年度10件を新規事業立ち上げるということは財政拡大を意味するので、対となる「スクラップ」計画の状況が分かればより良いであろう。

●協働の成果のレビューを行う体制はどうか。本施策では「効率的・高品質な行政」という効率性測定を求めているので、どのように担保されるか、本日の説明では分からなかった。

●行政と民間とが積極的に連携を図るためには、双方にエースコーディネータの育成が不可欠だろうと考えます。両者の良い所を引き出しシナジー効果を上げることができるよう、様々な仕掛けが急務です。

●勿論無計画に行政の委託をするとは思わないが、採用基準の明確、透明性を持たせ進めて頂きたい。

●指標など目標決めは難しいのですが、値を入れられない段階での指標の目標値決めには、空欄としても、個人的には賛成です。5、10という数字はよく使われ易いと知られているため、5、10…と記入されていると逆に気になりました。

この施策の位置付けが庁内で濃くない印象で残念です。今後もう少し注力し、施策の推進を応援して頂きたいです。